



## 札幌学院大学学園広報

編集・発行 札幌学院大学 広報入試課  
〒069-8555 北海道江別市文京台11番地  
電話 (011) 386-8111  
<http://www.sgu.ac.jp>



## 頑張った学生を応援する奨学・奨励金制度

成績優秀者奨学生21名、資格取得者奨学生24名、課外活動特待奨励生65名を採用

2016年度新入生の成績優秀者奨学生、資格取得者奨学生、課外活動特待奨励生が決定しました。入試成績による成績優秀者奨学生21名、入学までの資格取得（英検・簿記など）による資格取得者奨学生18名、公募制指定スポーツ推薦などで入学した課外活動特待奨励生47名が採

用されました。また、昨年度資格を取得した在学生6名と課外活動特待奨励生の継続者18名がそれぞれ採用されました。

奨学生並びに奨励生は、大学生活においてより高い目標に向かって勉学や資格取得、課外活動に励むことが期待されています。

成績優秀者  
奨学生

種類	人数	学科	免除額
第一種	5名	人間科学科1名、英語英米文学科2名、臨床心理学科1名、法律学科1名	1年次の年間授業料
第二種	16名	人間科学科1名、英語英米文学科4名、臨床心理学科5名、こども発達学科1名、経済学科2名、法律学科1名、会計ファイナンス学科1名、経営学科1名、	1年次の前期授業料

資格取得者  
奨学生

	人数	資格の種類	免除額
新入生	18名	日商簿記2級4名、全商簿記1級6名、実用英語検定2級8名	入学金
在学生	6名	実用英語検定準1級1名、TOEIC740点以上3名、行政書士2名	年間授業料の半額

課外活動  
特待奨励生

	人数	種類	競技名
新入生	47名	第一種19名、第二種13名、第四種3名、第五種12名	硬式野球9名、弓道5名、ソフトテニス8名、陸上8名、カーリング4名、武術（太極拳）1名、バスケットボール10名、空手道1名、和太鼓1名
在学生 （継続者）	18名	第二種18名	硬式野球2名、弓道3名、ソフトテニス1名、陸上3名、カーリング9名

第一種（年間授業料全額免除）、第二種（年間授業料半額免除）、第三種（1年次授業料の半額免除）、第四種（入学金免除）、第五種（入学金半額免除）

## 2016（平成28）年度 入学式

大学院3研究科20名、4学部8学科539名、合わせて559名が入学しました。



新入生代表 法学部 伊藤 翔斗さん

4月1日、2016年度入学式を本学G館SGUホールにて挙行了しました。

式典は2部構成となっており、第1部では鶴丸俊明学長から「教養教育と専門教育から構成される大学の教育システム、特に教養教育を構成する5つの要素『目的を持つこと、思考する

こと、主体性を持つこと、国語力を育むこと、礼儀作法を尊ぶこと』に基づき、一日も早く『高校の生徒』から『大学の学生』へと成長し、学修や課外活動等を通じて大学生活を意義あるものとしてほしい」との式辞が新入生へ贈られました。その後、新入生代表から意気込みあふれる誓いの言葉が述べられ、参列者全員で校歌を斉唱しました。

第2部「ウエルカムアワー」では、コラボレーションセンターの学生スタッフが進行役を務め、体育会・文科系クラブサークルやゼミナールなど、学生たちが自ら作成した動画を用いて、それぞれの活動内容を紹介するとともに新入生を歓迎しました。

式典終了後は、学部・学科ごとに分かれてガイダンスを行い、教職員スタッフの紹介や学生証の交付、授業開始までのスケジュールなどについて担当者から説明があり、新入生たちは緊張しながらも真剣に聞き入っていました。

当日は天候にも恵まれ、キャンパス内では家族での写真撮影や先輩学生からのサークル勧誘など、活気に満ちた一日となりました。

# 札幌学院大学は 創立70周年を迎えました。

時代の移り変わりと共に姿を変え、進化を重ねてきたガクイン。

変わらないのは、学生一人ひとりと真剣に向き合うスピリットです。

学生がもっと大きな夢を描ける明日へ、ガクインはこれからも歩み続けます。



**1946** 昭和21年

札幌文科専門学院創立  
(経済科・法科・文科)

**1968** 昭和43年

札幌商科大学開学  
(商学部商学科)

**1977** 昭和52年

人文学部人間科学科・  
英語英米文学科、  
商学部第二部商学科開設



**1950** 昭和25年

札幌短期大学開学  
(商業科第一部・英文科)

**1976** 昭和51年

商学部経済学科開設

**1984** 昭和59年

札幌学院大学へ改称、  
法学部法律学科開設



## ■ 創立70周年記念グッズ・学内装飾



シール

オリジナル  
クッキー



エレ  
ベーター  
装飾

街灯  
フラッグ

缶バッジ



封筒  
(角2・長3)



# MESSAGE



札幌学院大学は、本年6月15日をもって創立70周年を迎えました。この記念すべき年にあたり、いくつかの周年記念事業を計画しております。創立70周年という大きな節目を、同窓生、そして多くの支援者の皆様とお祝いしながら、さらなる飛躍を期する本学の新たなスタートの機会にしたいと考えております。

2018(平成30)年の大学開学50周年、さらには創立100周年に向けて、皆様におかれましては、この趣旨を何卒ご理解いただき、創立70周年記念事業に暖かいご支援・ご協力をお願い申し上げます。

学校法人札幌学院大学 理事長 井上 俊彌



ともに歩き、未来を創る。

## Walk Together



**1991** 平成3年

経済学部経済学科、  
社会情報学部  
社会情報学科開設

**2000** 平成12年

大学院  
臨床心理学研究科  
修士課程開設

**2003** 平成15年

大学院  
地域社会マネジメント研究科  
修士課程開設

**2009** 平成21年

経営学部 経営学科・  
会計ファイナンス学科  
開設

**2016**

平成28年

**1995** 平成7年

大学院  
法学研究科修士課程開設

**2001** 平成13年

人文学部  
臨床心理学科開設

**2006** 平成18年

人文学部  
こども発達学科開設



## 創立70周年記念日カウントダウン



札幌学院大学では、2016年6月15日の創立70周年に向けてカウントダウン企画を実施しました。

学生や教職員など、札幌学院大学に携わるたくさんの方々がカウントダウンボードを持って参加。それらを撮影した画像が、大学公式ホームページやフェイスブックで6月15日当日まで、毎日更新されました。

また、学内2箇所(E館2階学生支援課前、G館6階学食)に設置された、デジタルサイネージでも紹介されました。

学生・教職員が一丸となって、記念すべき創立70周年記念日に華を添えました!

## 学園創立70周年記念 学術講演会 ～講演と音楽の夕べ～

入場  
無料

日時: 2016年10月29日(土) 開場 15:00～ 開演 15:30～  
場所: 札幌学院大学G館 SGUホール

第1部 「真田丸の謎を解く」(予定)  
講演: 千田嘉博(奈良大学学長)  
対談: 千田嘉博(奈良大学学長)、  
鶴丸俊明(札幌学院大学学長)

第2部 音楽: 大平まゆみ  
(札幌交響楽団  
コンサートマスター)  
&ピアノ

## 札幌学院大学学園創立70周年・ 東亜大学建学70周年記念 国際シンポジウム

入場  
無料

日時: 2016年11月19日(土) 10:00～  
場所: 札幌学院大学G館 SGUホール

メインテーマ:  
日韓社会の将来像(仮題)

# 2015年度決算ならびに2016年度予算

## 事業活動収支計算書

(単位：千円)

	2015年度予算	2015年度決算	差 異	2016年度予算	主な項目		
教育活動収入の部	学生生徒等納付金	2,397,873	2,414,061	△16,188	2,206,500	入学金、授業料、教育充実費、実験実習料など	
	手数料	36,400	32,682	3,718	30,300	入学試験の検定料、試験料など	
	寄付金	33,500	26,387	7,113	38,300	個人や団体からの寄付金、図書や備品等の現物寄付含む	
	経常費等補助金	272,400	319,180	△46,780	360,200	国又は地方公共団体からの補助金	
	(内国庫補助金)	(272,200)	(318,312)	(△46,112)	(360,000)		
	付随事業収入	12,700	19,212	△6,512	26,700	外部より委託を受けて行う試験・研究などの収入	
	雑収入	188,500	211,128	△22,628	191,800	退職金財団交付金、科学研究費の間接経費の収入など	
	教育活動収入計	2,941,373	3,022,650	△81,277	2,853,800	経常的な活動のうち教育活動にかかる収入計	
	事業活動支出の部	人件費	2,379,500	2,356,089	23,411	2,304,300	専任教職員・非常勤給与、アルバイト料、退職金など
		教育研究経費	1,189,146	1,108,373	80,773	1,228,865	教育や研究部門に資する費用(減価償却費含む)
管理経費		289,622	301,087	△11,465	315,125	管理や法人部門に資する費用(減価償却費含む)	
徴収不能額等		0	0	0	0		
教育活動支出計	3,858,268	3,765,549	92,719	3,848,290	経常的な活動のうち教育活動にかかる支出計		
教育活動収支差額	△916,895	△742,899	△173,996	△994,490	教育活動収入計から教育活動支出計を減じた額		
収入の部	受取利息・配当金	255,900	255,943	△43	227,800	貸付金または預金などの運用財産の利息・受取利息・配当金	
	その他の教育活動外収入	0	0	0	0		
	教育活動外収入計	255,900	255,943	△43	227,800	経常的な活動のうち教育活動以外の主に財務活動にかかる収入計	
支出の部	借入金等利息	3,700	3,700	0	2,812	借入金の支払利息、リース料の利息分など	
	その他の教育活動外支出	0	0	0	0		
	教育活動外支出計	3,700	3,700	0	2,812	経常的な活動のうち教育活動以外の主に財務活動にかかる支出計	
教育活動外収支差額	252,200	252,243	△43	224,988	教育活動外収入計から教育活動外支出計を減じた額		
経常収支差額	△664,695	△490,656	△174,039	△769,502	教育活動収支差額と教育活動外収支差額の合計額		
特別収支の部	資産売却差額	0	200	△200	43,760	資産売却収入が当該資産の帳簿価格を超える場合の、その超過額の収入	
	その他の特別収入	0	0	0	0		
	特別収入計	0	200	△200	43,760	資産売却や処分にかかる臨時的な収入	
	資産処分差額	30,000	17,007	12,993	25,000	資産売却代価が帳簿残高を下回った場合の差額や資産を売却した際の売却損	
	その他の特別支出	0	0	0	0		
	特別支出計	30,000	17,007	12,993	25,000	資産売却や処分にかかる臨時的な支出	
	特別収支差額	△30,000	△16,807	△13,193	18,760	特別収入から特別支出計を減じた額	
予備費	9,500	0	9,500	9,300	予備的予算で、本学では事業活動収入の0.3%を計上		
基本金組入前当年度収支差額	△704,195	△507,463	△196,732	△760,402	経常収支差額と特別収支差額の合計額		
基本金組入額合計	△245,047	△3,214,554	2,969,507	△1,299,029	1号から4号までの基本金組入額		
当年度収支差額	△949,242	△3,722,017	2,772,775	△889,071	基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額を控除した当年度の収支差額		
前年度繰越収支差額	1,621,901	1,621,901	0	△642,105	前年度までの収支差額		
基本金取崩額	0	1,458,011	△1,458,011	0	当年度で購入した建物や備品等の額を上回って、既存の建物や備品等を売却した際に基本金を取崩す額		
翌年度繰越収支差額	672,659	△642,105	1,314,764	△1,531,176	翌年度へ繰り越す収支差額		
(参考)							
事業活動収入計	3,197,273	3,278,793	△81,520	3,125,360	当年度のすべての事業活動収入		
事業活動支出計	3,901,468	3,786,256	115,212	3,885,402	当年度のすべての事業活動支出		

## 2015(平成27)年度決算並びに2016(平成28)年度予算

2016(平成28)年5月25日に開催された第211回理事会において、学校法人札幌学院大学2015(平成27)年度決算並びに2016(平成28)年度補正予算が承認されました。

### [2015(平成27)年度決算の概要]

事業活動収支計算書の当年度収支差額については、予算額で9億4,920万円の支出超過を見込んでおりましたが、決算額では27億7,280万円支出超過が増加し、37億2,200万円の支出超過となりました。これは、減価償却引当特定資産のうち38億円を第3号基本金引当特定資産(奨学事業)及び現・預金へ移管したことによるものが大きな要因です。

資金(キャッシュ)の増減については、2014年度末から約8千6百万円の減少となっておりますが、今後は財務基盤をより強固なものにするため、中期的に収支均衡を図るよう、改善を行っていく所存です。

## 資金収支計算書

(単位：千円)

	2015年度予算	2015年度決算	差 異	2016年度予算	主な項目	
収入の部	学生生徒等納付金収入	2,397,873	2,414,061	△16,188	2,206,500	入学金、授業料、教育充実費、実験実習料など
	手数料収入	36,400	32,682	3,718	30,300	入学試験の検定料、試験料など
	寄付金収入	29,700	24,439	5,261	35,000	個人や団体からの寄付金
	補助金収入	272,400	319,180	△46,780	360,200	国又は地方公共団体からの補助金
	資産売却収入	0	200	△200	773,587	機器備品等の固定資産の売却による収入
	付随事業・収益事業収入	12,700	19,212	△6,512	26,700	外部より委託を受けて行う試験・研究などの収入
	受取利息・配当金収入	255,900	255,943	△43	227,800	貸付金、預金等運用財産の利息・受取利息・配当金
	雑収入	188,500	211,128	△22,628	191,800	退職金財団交付金、科学研究費の間接経費の収入など
	借入金等収入	30,000	30,000	0	0	金融機関などからの借入金、学費債券の満期分
	前受金収入	317,300	322,123	△4,823	323,300	翌年度入学生の入学金、授業料、教育充実費など
その他の収入	2,804,309	9,680,648	△6,876,339	5,145,117	運用資産の満期または売却による収入額、前期末未収入金、貸付金の回収収入など	
資金収入調整勘定	△421,613	△501,830	80,217	△498,123	当年度末の未収入金、前期末の前受金など	
前年度繰越支払資金	766,673	766,673	0	2,045,892	前年度に繰越された預貯金など、支払資金の繰越額	
収入の部合計	6,690,142	13,574,459	△6,884,317	10,868,073		

	2015年度予算	2015年度決算	差 異	2016年度予算	主な項目	
支出の部	人件費支出	2,379,700	2,356,089	22,284	2,302,800	専任教職員・非常勤給与、アルバイト料、退職金など
	教育研究経費支出	870,500	783,106	87,394	910,300	教育や研究部門に資する費用
	管理経費支出	262,800	275,384	△12,584	290,700	管理や法人部門に資する費用
	借入金等利息支出	3,700	3,700	0	2,812	借入金の支払利息、リース料の利息分など
	借入金等返済支出	30,000	30,000	0	0	借入金等の元金返済にかかる支出
	施設関係支出	48,000	43,791	4,209	75,808	土地・建物・構築物等の固定資産取得の支出
	設備関係支出	80,200	47,661	32,539	80,366	備品・図書・施設利用権等の固定資産取得の支出
	資産運用支出	2,869,000	7,952,801	△5,083,801	4,745,000	運用資産の新規購入または満期償還などによる再取得額
	その他の支出	235,497	80,371	155,126	89,180	新たな貸付金、前払金、前年度の未払金など
	予備費	9,500	0	9,500	9,300	予備的予算で、本学では事業活動収入の0.3%を計上
資金支出調整勘定	△200,000	△45,663	△154,337	△83,623	当年度末の未払金、前期末の前受金	
翌年度繰越支払資金	101,245	2,045,892	△1,944,647	2,445,430	次年度に繰越す預貯金など、支払資金の繰越額	
支出の部合計	6,690,142	13,574,459	△6,884,317	10,868,073		

## 貸借対照表

資産の部 (単位：千円)

	本年度末 2016年3月31日	前年度末 2015年3月31日	増 減	主な項目
固定資産	26,515,604	29,040,420	△2,524,816	有形固定資産とその他の固定資産の合計額
有形固定資産	10,957,258	11,231,789	△274,531	使用期間が1年以上にわたる、土地・建物・構築物・備品・図書
特定資産	15,521,122	17,754,374	△2,233,252	1年以上所有する特定資産
その他の固定資産	37,224	54,257	△17,033	1年以上所有する、電話加入権・施設利用権・長期貸付金・長期前払金
流動資産	2,972,257	991,546	1,980,711	現金や預金・1年以内の短期貸付金
資産の部合計	29,487,861	30,031,966	△544,105	

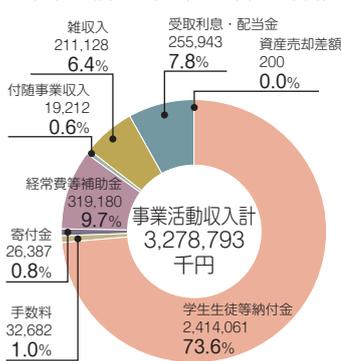
## 負債の部

	本年度末 2016年3月31日	前年度末 2015年3月31日	増 減	主な項目
固定負債	1,293,450	1,305,874	△12,424	返済期間が1年以上にわたる借入金や学費債、退職給付引当金
流動負債	460,803	485,021	△24,218	返済期間が1年未満の借入金や学費債、預り金や未払金
負債の部合計	1,754,253	1,790,895	△36,642	

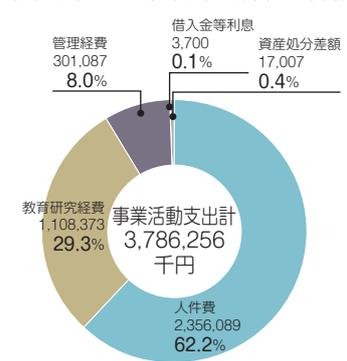
## 純資産の部

	本年度末 2016年3月31日	前年度末 2015年3月31日	増 減	主な項目
基本金	28,375,714	26,619,170	1,756,544	学校法人会計基準第30号で定められた固定資産(第1号)・新収金繰越等引当特定資産(第2号)・運用実費で行う奨学事業の基金(第3号)・法令に基づいた支払準備金(第4号)
繰越収支差額	△642,105	1,621,901	△2,264,006	前年度までの繰越収支差額に、当年度の繰越収支差額を加えた累積額
純資産の部合計	27,733,608	28,241,071	△507,462	基本金及び繰越収支差額の合計
負債及び純資産の部合計	29,487,861	30,031,966	△544,105	負債の部合計と純資産の部を合計した額

2015年度 事業活動収支計算書  
事業活動収入割合(金額単位：千円)



2015年度 事業活動収支計算書  
事業活動支出の部割合(金額単位：千円)



**【2016（平成28）年度の予算編成方針】**

**【基本的な考え方】**

1. 財政健全化のため、事業活動収入の増加に資する事業を推進する。
  - ・入学者を安定的に確保するための施策
  - ・退学者・除籍者を減少させるための施策
  - ・補助金獲得につながる大学改革、教育改革事業
2. 教育、研究、地域貢献活動等の基盤を保障した上で大学の強みを強化する事業を推進する。
  - ・教育内容の充実を図るための事業
  - ・学生の就業力を高める事業
  - ・学生の課外活動を支援する事業
  - ・研究水準の向上に資する事業
  - ・社会貢献、地域貢献事業
3. 学部学科の再編に係る諸活動を遅滞なく進める。
4. 学園広報の一環として70周年事業を推進する。
5. 中期財務計画（試算）の策定と合わせて人件費の抑制・削減を進める。

**【2016（平成28）年度予算の概要】**

以下の、重点政策事項を具体化し、実現するため、当年度収支差額は8億8,900万円の支出超過を見込んでおり、資金（キャッシュ）については約3億円の減少を見込んでおります。先に述べましたが、中期的に収支均衡を図るよう、改善を行っていき存です。

**◎主な重点政策事項**

- 教育の改善
  - ・基礎学力の育成のための新たなコンテンツの製作等の導入教育の充実
  - ・高大連携・入学前学習の充実による大学への適応性の強化
  - ・大学での学びの理解のための履修要項の改善
  - ・キャリア科目等の就業教育の充実
  - ・FD（教員の能力開発）・授業アンケートの活用等の授業改善の強化
  - ・教学データ分析（IR）の推進
  - ・自主的な学習環境の整備・運営：図書館ラーニング commons の整備
  - ・地域連携教育の充実
  - ・国際化・グローバル教育の充実
- 学生の満足度等の学生の実態把握の強化
- 私立大学等改革総合支援事業への取り組みの強化
- 人文学部の再編による新学部設置作業の推進
- 奨学金制度の拡充・充実
- 環境負荷の低減と消費電力削減のためのLED化促進
- 先端の情報ネットワーク技術を活用した教育・研究環境の充実
- 学園創立70周年・大学開学50周年記念事業の推進
- 財政基盤の安定に向け、中期計画の策定

**2016年度 科学研究費助成事業  
（日本学術振興会）採択状況**

科学研究費助成事業とは、文部科学省並びに独立行政法人日本学術振興会管轄の競争的研究資金です。

本学からも下記の研究者が競争的研究資金を獲得し、研究活動を積極的に行っております。

（単位：円）

研究代表者	学部	研究種目	研究課題	交付決定額
白杵 勲	人文	基盤研究 (A)	初期遊牧国家の比較考古学的研究	5,980,000
奥田 統己	人文	研究成果公開促進費(データベース)	アイヌ語音声データベース	1,400,000
中村 永友	経済	基盤研究 (C)	大規模欠測を伴う空間系列的超大量非典型データの統合的モデリング	1,300,000
白石 英才	経済	基盤研究 (C)	サハリン・アムール地域の言語地図	1,560,000
村澤和多里	人文	基盤研究 (C)	心理的・社会的自立の基盤が脆弱な児童・若者への包括的支援枠組みについての研究	650,000
清水 敏行	法	基盤研究 (C)	民主化以降の韓国と台湾における政治と市民社会の相互作用の比較研究	650,000
佐々木 冠	経営	基盤研究 (C)	通言語的観点から分析する逆使役的関連形態法の広がり	1,430,000
児島 恭子	人文	基盤研究 (C)	イチョウ巨樹の乳信仰に関する歴史研究	650,000
小内 純子	社情	基盤研究 (C)	農山村における新しいソーシャル・サポート・システム構築に関する研究	1,430,000
大澤 真平	人文	基盤研究 (C)	子ども・若者の貧困とその経験：社会的文脈を組み込んだ分析視点から	650,000
横山登志子	人文	挑戦的萌芽研究	複合的困難を抱えるDV被害母子の生活再建期における「積極的分離」	910,000
平体 由美	人文	基盤研究 (C)	軍・植民地・本国の公衆衛生知の循環一両大戦期アメリカのマラリア対策	650,000
大塚 宜明	人文	若手研究B	北海道における先史時代の資源利用の解明に向けた基盤構築	1,690,000

**教職員人事**

**■任命（平成28年4月1日付）**

- 学 長
- 副学長
- 教務部長
- 就職部長
- 地域社会マネジメント研究科長
- 法学研究科長
- 臨床心理学研究科長
- 法学部長
- 人文学部長
- 社会情報学部長
- 法学部法律学科長
- 人文学部人間科学科長
- 人文学部英語英米文学科長
- 人文学部臨床心理学科長
- 社会情報学部社会情報学科長
- 経営学部教務委員長
- 経済学部教務委員長
- 法学部教務委員長
- 人文学部教務委員長
- 国際交流委員長
- コラボレーションセンター長

- 鶴丸 俊明
- 石川 干温
- 皆川 雅章
- 白石 英才
- 石川 干温
- 平澤 亨輔
- 清水 敏行
- 葛西 俊治
- 田處 博之
- 岡崎 清
- 小内 純子
- 清水 敏行
- 舩田 弘子
- 西 真木子
- 佐野 友泰
- 小内 純子
- 杉本 修
- 湯川 郁子
- 嶋田 佳広
- 湯本 誠
- 吉川 哲生
- 佐々木 冠

**■採用（平成28年4月1日付）**

- 橋長真紀子（経営学部経営学科准教授）
- 新開 潤一（経済学部経済学科講師）
- 橋井 雄太（法学部法律学科講師）
- 瀧本京太郎（法学部法律学科講師）
- 佐藤 満（人文学部人間科学科教授）
- 中田 雅美（人文学部人間科学科准教授）
- オルソン R. C.（人文学部英語英米文学科講師）
- 宮崎 友香（人文学部臨床心理学科准教授）
- 中村 裕子（人文学部臨床心理学科講師）
- 北岡 隆行（人文学部こども発達学科教授）
- 井上 大樹（人文学部こども発達学科准教授）

- 小杉 伸次（法学部法律学科教授）
- 松本 祥志（法学部法律学科教授）
- 佐々木 健（法学部法律学科准教授）
- 向 裕加（法学部法律学科講師）
- 川合増太郎（人文学部人間科学科教授）
- 土淵美知子（人文学部人間科学科教授）
- 牧野 誠一（人文学部人間科学科教授）
- コッター M. J.（人文学部英語英米文学科講師）
- 中野 英子（人文学部臨床心理学科教授）
- 小林 好和（人文学部こども発達学科教授）
- 渡邊 知樹（人文学部こども発達学科教授）
- 太田 清澄（社会情報学部社会情報学科教授）
- 櫻井 道夫（社会情報学部社会情報学科教授）

**■退職（平成28年3月31日付）**

- 赤羽 幸雄（経営学部経営学科教授）
- 兒玉 敏一（経営学部経営学科教授）
- 山田 昭夫（経済学部経済学科教授）
- 大場 隆広（経済学部経済学科准教授）

**■退職（平成28年5月20日付）**

- 宮田 昌樹（教務課）

**■採用教員**



**■昇任（平成28年4月1日付）**

- 教 授
  - 教 授
- 白石 英才
  - 村澤和多里

**■所属学部・学科変更（平成28年4月1日付）**

- 大國 充彦（経済学部経済学科教授）
- 小池 英勝（経済学部経済学科教授）
- 高田 洋（経済学部経済学科教授）
- 早田 和弥（経済学部経済学科教授）
- 石井 和平（法学部法律学科教授）
- 皆川 雅章（法学部法律学科教授）

# Seminar

わたしたちの●ゼミ紹介します！

@SGU vol.20

教養ゼミナール

経営学部経営学科 教授 山本 純



域の祭りプロモーションビデオ作成プロジェクト」を実現しました。祭りの実行委員会にも積極的に参加し、その活動が地元紙にも大きく取り

## ゼミナールのテーマ

山本ゼミは「地域貢献アウトキャンパス学習」を広く全学の学生にも体験してもらおうと開講しました。3年目の今年度は6学科32名の学生が活動しています。石狩厚田、江別大麻、札幌白石などの地域と連携し、学生自らがプロジェクトを立ち上げ実行する体験学習を展開しています。

## ゼミナールの活動内容

地域密着型フリーペーパー「しろいしおもしろい誌」（札幌市白石区）で「学生探訪隊」として情報発信するプロジェクトに始まり、大学紹介プロモーションビデオの作成、昨年度は厚田の「ふるさとあきあじ祭り」の参加手伝いと「子ども向け縁日」の実施、浜益の「地

り上げられ注目を集めた。こうした体験学習から今年度は、学生主体の「こども食堂 ここなつプロジェクト（江別市大麻）が派生して実現しました。地元のコミュニティスペース「江別港」の協力を得て、学生自らその他の関係団体からの協力を引き出し、子どもの孤食を防ぎ地域の交流を図るプロジェクトを展開している。昨年末には東日本大震災の5年後の今を伝える岩手県釜石の「三陸ひとつなぎ自然学校」の訪問を受け、交流しました。地元高校生が仮設住宅を元気にしようと発案した「マグネットアートプロジェクト」に共鳴し、学生自らが学内でマグネットアート作成の協力を求めるプロジェクトを展開しました。これらの活動も地元紙に取り上げられ、本学学生の主体的な取り組みと実行力に期待が寄せられています。

## 2016 (平成28) 年度

# 保護者懇談会のご案内



本学会場の様子

保護者懇談会は、大学と保護者が協力して学生の学びと成長を支えていこうという目的で1974年から開催され、今年で42年目を迎えます。

本学の教育と最近の就職状況についてご説明するとともに、学生一人ひとりの修学状況を十分に踏まえた上で、学部担当教員よりお子様の修学状況（単位修得・成績など）をお話させていただきます。今年度は、以下のとおり開催を予定しています。

開催地	開催日	受付	保護者懇談会	会場
帯広	9月3日(土)	12:00	12:30~14:30	とかち館
釧路	9月4日(日)	9:30	10:00~12:30	釧路プリンスホテル
函館	9月10日(土)	9:30	10:00~12:30	ホテル法華クラブ函館
青森	9月11日(日)	9:30	10:00~12:30	ホテル青森
本学	10月29日(土)	9:30	10:00~15:00	札幌学院大学

※本学会場では、13時よりキャリア支援課主催の「保護者向け就職活動勉強会」を開催します。

# 札幌学院大学後援会

## 春季役員会の開催

5月28日、後援会の春季役員会が本学G館5階特別会議室において開催されました。

役員会では、①新評議員及び理事の就任、②平成27年度事業報告及び決算、③平成28年度事業計画及び予算、④学園創立70周年・大学開学50周年記念事業への協力について審議され、すべて承認されました。

役員会終了後には、昼食会が催され、菅原秀二常務理事、鶴丸俊明学

長ら大学関係者も参加し、なごやかに懇談が行われました。

なお、役員会の詳細については、大学のホームページに掲載しておりますのでご覧ください。



## 自費出版助成『ニヴフ語音声資料12』

白石 英才（経済学部教授）、ナデジュダ グリゴリエヴナ・ベソノヴァ編

サハリン島の先住民族言語ニヴフ語は話者数が推定で50名足らずまで減少し、このままでは近い将来話者が絶えることが懸念されています。とりわけ島の北端で話されているシュミット方言は話者わずか5名であり「自分たちの方言が消えゆく前に記録してほしい」と依頼を受けることが多くなりました。このたび札幌学院大学後援会自費出版助成を得てシリーズ『ニヴフ語音声資料』の12号として、シュミット方言の会話資料を公刊することができました。

日本からサハリンへの郵便事情は極めて悪く、公刊後に航空便で送った本書を共同編者のベソノヴァ女史が受け取ったのは実に3か月後でした。「これでやっと自分たちの方言が認められる」。電話越しに発せられたベソノヴァ女史の声からは喜びだけではなく、少数言語ニヴフ語の中でもさらに話者数が少ないシュミット方言の話者が味わってきた苦難が感じられました。本書がニヴフ語研究の進展に寄与することを切に願います。



ニヴフの民族衣装をまとった女性たち



ニヴフ語話者への聞き取り調査

経済学部公開講座（第9回）

〈科目名：経済学特別講義B〉

グローバル社会の中の北海道  
（仮題）

開催日時 9月23日（金）～1月20日（金）  
3講時 13時10分～14時40分  
ただし、12月30日（金）、  
1月6日（金）、1月13日（金）は休講。

開催場所 D202教室  
問合せ先 教育支援課 経済学部係

人文学部公開講座（第37回）

〈科目名：人間論特殊講義〉

人文力—資源としての人文知、  
闘争としての人文知

開催日時 8月22日（月）～8月26日（金）  
（5日間連続）  
2～4講時 10時50分～16時20分  
（12時20分～13時10分は昼休み）

開催場所 B101教室  
問合せ先 教育支援課 人文学部係

法学部公開講座（第27回）

〈科目名：法政総合講座B〉

地域・市民社会から  
世界を読み解く

開催日時 9月21日（水）～1月18日（水）  
3講時 13時10分～14時40分  
※11月23日（水・祝）、12月28日（水）、  
1月4日（水）は休講。

開催場所 D202教室  
問合せ先 教育支援課 法学部係



エクステンションセンター前期講座がスタート



エクステンションセンターでは、正課の授業で取得できる資格とは別に、就職に役立つ資格やスキルを身につけることを目的に資格講座を開講しています。今年度も行政書士、FP技能士3級、国内・総合旅行業務取扱管理者、宅地建物取引士、介護職員初任者、保育士、法学検定、パソコン（MOS）、ビジネス能力検定（ジョブパス）、簿記講座などの資格講座と公務員志望者を対象とした公務員講座を開講しています。授業の後に学内で受講が出来、受講料も安いことから毎年多くの学生が受講して資格を取得しています。今年度も前期講座がスタートしています。後期の講座につきましては、エクステンションセンター受講受付（札幌学院大学生協）へお問合せください。



コミュニティ・カレッジ講座のご案内

社会連携センター（札幌市中央区大通西6）では、市民のための講座「コミュニティ・カレッジ講座」を開講して今年で17年目を迎えます。今年の前期講座では、一般講座10講座、市民セミナー 6講座、英会話講座5講座を開講、約830名が教養講座や専門講座、英会話講座などで楽しく学んでいます。

本学では早くから生涯学習に取り組み、札幌に拠点を設け社会貢献・地域開放の一環としてコミュニティ・カレッジ講座を開講・運営して参りました。開設以来、2万5千名を超える皆さまに受講いただき、大変好評を得ています。後期の講座は10月開講になります。詳しくは、8月下旬に後期講座向けに更新される社会連携センターのホームページ（<http://www.sgu.ac.jp/rcc/>）をご覧ください。同窓生、在学生のご両親には受講料の特別割引制度がございます。



札幌学院大学 社会連携センター 検索



学長から寄贈目録を贈呈

札幌学院大学から新ひだか町図書館へ  
1,600冊の図書を送贈

本学教職員からの提供による図書1,600冊を新ひだか町（旧静内町）図書館に寄贈いたしました。新ひだか町では、町立図書館が2003年の十勝沖地震で使用不能になり、平成27年4月に新ひだか町図書館・博物館としてリニューアル・オープンいたしました。町民に対し十分な資料の提供ができない状況にありました。そのような中、同年秋に本学教員と親交のある新ひだか町図書館・博物館長から札幌学院大学図書館に不要図書の譲渡についての打診がありました。

しかし図書館の不要図書は古かったり専門的であったりして町立図書館にはミスマッチと判断し検討を行った結果、本学教職員からの図書提供による図書寄贈を決定しました。

本学教職員に公共図書館向けの図書の提供を広く求めたところ約3カ月で1,600冊を集めることができ、4月15日に学長室にて図書贈呈式を執り行いました。

教員著書紹介

新・金融経済と証券投資

玉山和夫  
（経営学部教授） 著

発行元 中西出版  
発行日 2016年4月21日  
価格 3,240円（税込）



旧版ではあまり触れなかった、ファイナンシャル・プランやコーポレート・ファイナンスなどの関連科目の学習にも参考になる記述を増やしたり、コラムで紹介しています。他にも、学生諸君の質問や意見を反映させて内容の充実を図りました。これらの全面改訂プラス索引で、使い勝手を良くしました。



## 新しいTV-CMが 完成しました

ガクイン生が出演するテレビCMが完成しました。今回のCMは、8学科の学生が出演し、明るいイメージのCMになりました。6月から放映されていますので、是非ご覧ください。また、メイキングの様子をホームページで公開しています。



## 第46回大学祭 6月24日(金)、25日(土)開催

今年も「青嵐祭(せいらんさい)」の季節がきました。6月24日(金)18時25分から前夜祭、25日(土)10時から本祭と2日間開催します。見て楽しむものから参加できるものまで様々な企画を予定しています。それに加え、外部からの出演者も!

誰が来るかは是非、お越しになって確認してみてください。

※青嵐祭…「晴れ渡る青空の中、人々が楽しく思えるような大学祭に」という意味が込められています。



## 道内初、学生主体の 子ども食堂「ここなつ」 営業スタート

人文学部人間科学科4年  
二本松 一将

大森銀座商店街にある「麺こいや」というお店を拠点に、地域に住む子どもたちを対象に、夕食支援を行っています(大人300円/子ども無料)。この活動を子ども食堂「ここなつ」といいます。「子ども、交流、仲良く、つながる」の頭文字を取って「ここなつ」です。また、子どもたちが「ここに来てよかった」といった良い思い出を作り、「ここ、懐かしい」と思えるような活動を心掛けています。毎週金曜日17時30分~20時、食育・学習支援・遊びの3つを手段に活動しています。15人の学生を中心に活動していますが、協力して下さる方はたくさんいます。継続的に活動していくためには「食材」と「最低限の資金」が必要です。現在は、食材提供をしていただける農家さんを探しています。他にも、北海道内ある子ども食堂と交流し、情報共有をしています。今後は、より多くの方が立ち寄れる場所にしていきます。



## 課外活動優秀者表彰式

5月26日(木)、昨年度の課外活動で優秀な成績を収めた団体、個人を表彰する「課外活動優秀者表彰式」が学長室で行われ、下記の団体のみなさんに鶴丸俊明学長から表彰状並びに団体第一種には30万円、第三種には10万円の援助金が授与されました。学生を代表してカーリング部主将佐々木樹さんから、「これからも更に上位を目指し頑張りたい」と、今後の決意表明が述べられました。

団体第一種

- ・カーリング部 (男子・女子)
- ・合気道部
- ・フットサル部

団体第三種

- ・ソフトテニス部



## Information

入試情報

### オープンキャンパス

	日程	時間	バス運行
初夏のオープンキャンパス	6月19日(日)	11:00~16:00	全道各地から 無料送迎バス運行
夏のオープンキャンパス	7月24日(日)	11:00~16:00	
秋のオープンキャンパス	9月25日(日)	13:00~16:00	
学びライブ2016	11月13日(日)	13:00~16:00	
春のオープンキャンパス	3月20日(月・祝)	13:00~16:00	札幌市内から 無料送迎バス運行

入試情報

### 大学進学セミナー

開催地	会場	日程	時間
旭川	アートホテルズ旭川 (旧:ロワジュールホテル旭川)	8月27日(土)	12:00~15:00(受付11:30~)
北見	野付牛モール チャリオット	8月28日(日)	10:30~13:30(受付10:00~)
帯広	とかち館	9月3日(土)	12:30~15:30(受付12:00~)
釧路	アクア・ホール	9月4日(日)	11:00~14:00(受付10:30~)
函館	LAMB'S EAR	9月10日(土)	10:00~13:00(受付9:30~)
青森	青森県観光物産館 アスパム	9月11日(日)	10:00~13:00(受付9:30~)

## SNSで情報配信中

Facebook



twitter



LINE



Instagram

